

主催



特定非営利活動法人 World Open Heart

# 高齢化社会と 加害者家族支援

## 犯罪に巻き込まれた人々の支援を考える

急速に進む高齢化社会において、高齢者が強盗や特殊詐欺の被害に遭うケースが増加する一方、自動車事故など犯罪の加害者となってしまうケースもあります。このシンポジウムでは、ある日突然、高齢の家族が加害者になってしまったケースに焦点を当て、全国の加害者家族3000件以上の相談を受けてきた加害者家族支援団体の代表者が発展途上にある加害者家族支援の現状と課題について報告します。

# 2025.3.23日 15:00-16:30

**会場** エル・ソーラ仙台 大研修室

(〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 アエルビル28階)

**定員** 50名

**参加費** 無料

**報告者** 阿部 恭子 特定非営利活動法人WorldOpenHeart 理事長・ノンフィクションライター



赤い羽根  
福祉基金

**お申し込み方法** 下記のいずれかの連絡先にお名前と電話番号またはメールアドレスを記入して開催日前日までお申し込みください。参加者が定員に満たなければ、お申し込みがなくても当日で参加いただけます。

✉ world.open.heart@gmail.com FAX 022-707-0497

**お問い合わせ** 090-5831-0810 (阿部)

この事業は「赤い羽根福祉基金」の助成を受けて実施しています



特定非営利活動法人 World Open Heart

理事長

阿部 恭子 (あべ きょうこ)

1977年宮城県仙台市生まれ。東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了(法学修士)。2008年大学院在学中、日本で初めて犯罪加害者家族を対象とした支援組織を設立。近年、ノンフィクションライターとして講談社「現代ビジネス」、プレジデントオンラインなどで事件に関する記事を発信。日本文藝家協会会員。

著書

『高学歴難民』

(講談社現代新書、2023)

『家族が誰かを殺しても』

(イーストプレス社、2022)

『家族間殺人』

(幻冬舎新書、2021)

『加害者家族を支援する—支援の網の目からこぼれる人々』

(岩波ブックレット、2020)

『家族という呪い—加害者と暮らし続けるということ』

(幻冬舎新書、2019)

『息子が人を殺しました—加害者家族の真実』

(幻冬舎新書、2017)

他



『高学歴難民』(講談社現代新書、2023)

既に6刷 話題沸騰中!

社会を良くするたしかな一歩



赤い羽根  
福祉基金